

令和8年度予算案のEBPM「こどもの貧困対策推進経費」

課題データ

子どもたちの将来がその生まれ育った家庭の事情等環境に左右されることなく、すべての子どもが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指すためには、実態が見えにくいとされている我が国のこどもの貧困の状況を踏まえ、支援が必要な子どもや家庭に確実に支援を届けることが必要となっている。

事業

こどもの貧困対策推進経費

令和8年度当初予算案：1.2億円

こどもの貧困の解消に向けて社会全体で取り組むため、支援したい人や企業と、草の根で子どもたちを支えているNPO等の団体を結びつけ、国や自治体が行う施策を促進させる、官公民連携プロジェクトである「こどもの未来応援国民運動」の推進などにより、こどもの貧困対策を推進する。こどもの未来応援国民運動では、企業や個人からの寄付金を通じて、子どもたちに寄り添った活動を実施する民間団体を支援する、「こどもの未来応援基金」等の取組を行っている。

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

こどもの未来応援国民運動に係る広報啓発等
2026年度 1件（1件）

短期 アウトカム

—

中期 アウトカム

—

長期 アウトカム

こどもの貧困認知率の増加により企業や個人による寄付件数の増加
2028年度 3,000件（2,921件）

EBPM指標

子ども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべての子ども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

目標

子ども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み